

2012年 月 日()発行 VOL34

発行者:「九条の会」事務局 ホームページアドレス:<http://www.mc.ccnw.ne.jp/kyujou/>



みなと医療生協「九条の会」

九条ねっと

『核と人類は共存できない!』さよなら原発集會に17万人

命・命・すべての命を守りたい

さよなら原発10万人集會に参加して

みなと医療生協九条の会事務局 中村博雄

7月16日(月・祝)は、東京代々木公園で「さよなら原発10万人集會」でした。みなと医療生協からは組合員さん11名、職員13名+娘で参加しました。会場では元職員の方々数名と出会いました、それだけ裾野が広がっていると思いました。

会場はすごい人で、娘はだっこでで大変でした。組合員さんや職員から借りた日傘や塩アメと水筒のお茶で難をしのぎました。若者の実行委員もいて集會のカンパを大声で訴えていたので「頑張って」とカンパしました。会場で「さよなら原発1千万人署名」を落合恵子さんから呼びかけ人の方々に直接届けることが出来ました。また、集會では呼びかけ人の坂本龍一さんや大江健三郎さん等が一言ずつ発言されました。落合恵子さんの「いのち、いのち、全てのいのちを守る、ただそれだけです。(野田首相が所信表明演説で言っていたが、今は原発ムラの命が大事なんだねと揶揄されていた)」という言葉に感銘しました。

未来の子供たちに原発廃棄物や放射能というツケを残さないためにも、自分たちの世代でもう原発はもう終わりにしたいと思いました。

みなと医療生協九条の会

8周年記念講演会概要決定!!

とき: 10月23日(火)

テーマ:(仮)原発に頼らない街づくり

講師:名城大学教授 井内尚樹氏

みなと医療生協九条の会が8周年を迎えます。そこで毎年恒例となった記念講演会を10月23日(火)に開催することになりました。

原発事故の収束も済んでいないのに、大飯原発の再稼働を決定・実行したり、「アメリカとの約束」と、地元の合意のないままに危険なヘリ「オスプレイ」配備を強行しようとする情勢の中での開催となります。

「核(原発)と人類は共存できない」「危険な基地はいらない」この声をますます広げる、記念すべき講演会にしたいと思いますので、ご参加の方、よろしくお願ひします。

▽人・人・人で埋め尽くされた東京・代々木公園。当日の様子はマスコミでも大きく報道されました。呼びかけ人である著名人の発言はどれも感動を呼び、大きな力になっています。



《みなと医療生協九条の会短信》

○8月2日(木)・3日(金)

みなと医療の熱田平和盆踊りで「平和コーナー」を担当。会場に来て下さった人々に平和のアピールを行いました。

○みなと医療生協九条の会では、当会の運営のため引き続きカンパのお願いをしています。皆様の心あたたまるカンパのご協力をお願いします。

「九条守れ、原発はいらない」 私たちの行動で、この声を街中にひろげよう



マスコミに積極的に投書、意見提案をして 民意を伝えよう！

5月29日（火）夜、日本ジャーナリスと会議東海地区代表の大西五郎氏が「憲法9条の立場を投げ捨てた3.11大震災・原発事故以後のマスコミ報道」のテーマで講演。70人の組合員・職員が熱心に耳を傾けました。

大西氏は、地元報道機関の元記者としての経験をふまえ、3.11以後のマスコミ報道の特徴をわかりやすく説明。震災直後のマスコミ報道が現地の「悲惨さ」や「奇跡」「絆」といった内容であふれ、「政治の責任」を追及しなかったこと。その後も、原子炉のメルトダウンや原発事故による深刻な放射能汚染など東京電力や政府にとって都合の悪い情報隠しが続いたと指摘しました。こうした報道姿勢は、日本での原発推進の歴史、“原子カムラ”の利権構造の中にマスコミが組み込まれていることに起因していると説明しました。

大西氏は最後に、こうした動きに対抗するため、私たちが憲法をしっかりと学び、憲法9条は世界に誇るものという原点をマスコミに取り戻してもらうために、一人ひとりの憲法や平和への思いをマスコミへの投書・意見としてどんどん伝えていこうと呼びかけました。



△大西氏の話熱心に話を聞く参加者 ▽うたやあせ2011の皆さん



原発はいらない！ 緊急アピール行動に50名参加

6月21日（木）、みなと医療生協「くらし・街づくり委員会」との共催で、大飯原発再稼働に反対する緊急のアピール行動が行われました。

当日はあいにくの雨という天気、また緊急の行動提起にも関わらず組合員・職員50名が参加し、「原発再稼働反対」「原発はいらない」「核と人類は共存できない」の声をあげながら協立総合病院の周辺を練り歩きました。

参加者からは「やっぱり何か行動を起こさないかん」「何もせんと、どんどん決まってしまう」という声が聞かれました。

野田政権はさらに他の原発の再稼働を目論んでおり、地域から、「原発はいらない」の声を広げていきたいと思います。

好きなことができるのも平和のお蔭！

「平和の夕べ」に80名の参加

6月26日（火）、毎年恒例となった「平和の夕べ」が80名の参加者をもって開催されました。

お馴染みとなった医局合唱団はもちろんのこと、組合員・職員合唱団の「うたやあせ2011」が新曲を披露、職員バンド「チルチルミチル」も沖縄本土決戦を歌にした「島唄（BOOM）」を熱唱しました。今回はマジックも初参加となりました。

メインは組合員有志の福島・宮城訪問報告。まだまだ、復興にはほど遠い状況であり、支援・援助が必要なことが報告されました。同時に医療生協が地域で大活躍していることもあり、改めて医療生協の必要性を実感することに繋がりました。

今後も、職員・組合員の趣味・特技をいかしながら、できるところから平和を訴えていきたいと思っています。

次回は冬の時期を予定しています。お楽しみに!!

